

図書館の本棚から(一般)

2021年3・4月号 亀山市立図書館

テーマ：海外文学

●その女アレックス ピエール・ルメートル
男に監禁され、檻に閉じ込められるアレックス。衰弱した彼女は、死を目の前に脱出を図る。そしてそこから更に過酷な展開が待ち受けているー。

●モリアーティ秘録 上・下 キム・ニューマン
犯罪者に計画や助言を与える悪の首魁・モリアーティ教授の右腕として活躍したモラン大佐は、2人が経験した奇妙な冒険を文書に書き残していた…。

●バルザックと小さな中国のお針子 ダイ・シージエ
作家自らの青年時代の体験をもとに綴った、文化大革命の嵐が吹き荒れる中国が舞台のほろ苦い青春小説。

●わたしを離さないで カズオ・イシグロ
全寮制施設で育ったキャシーは、友人と過ごした日々を思い返していた。図画工作に力を入れた授業、毎週の健康診断、教師たちのぎこちない態度…。彼女の回想は施設の驚くべき真実を明かしていく…。

●ジーヴスの事件簿 才智縦横の巻 P.G.ウッドハウス
20世紀初頭のロンドン、気はいいが少しおつむのゆるい金持ち青年パーティには、とんでもなく有能な執事がいた。どんな難題もたちまち解決！世界中で愛されるジーヴスの傑作選。

その他

●この世界の片隅に 上・中・下 こうの史代
戦時下の広島・呉を舞台に、主人公すずの日常と軌跡を描く物語。

●アンと愛情 坂木司
成人式を迎えるアンちゃん。催事場を経験したり、友達と行った旅行先で別行動をしたり、少しずつ経験を積んでいく。シリーズ第3弾。

●身のまわりのありとあらゆるものを化学式で書いてみた
山口悟
「タマネギを切ると涙が出るのはなぜ?」「なぜ虫歯になるの?」「乾電池から電気が出るのはどうして?」…。素朴な疑問を化学式で解決。

●〈あの絵〉のまえで 原田マハ
ゴッホ、ピカソ、クリムト、モネ…。人生の脇道に佇む人々が〈あの絵〉と出会い、再び歩き出す…。アート小説の名手による、日常の中の小さな幸せに寄り添う6篇。

